



## Japanese Speech Contest

The Center for Japanese Language Education hosts an annual Japanese Speech Contest

六月二十九日に「第二回（二〇一三年）立教大学留学生による日本語スピーチコンテスト」東京セントポールライオンズクラブ杯が行われました。十九人の出場者が、初級・中級・上級のカテゴリーに分かれて、それぞれ素晴らしいスピーチを発表しました。また、学生のボランティアの方が「スピーチアドバイザー」、実行委員として、スピーチコンテストを盛り上げてくれました。

### 結果

- 東京セントポールライオンズクラブ賞：ムンフバヤル・アノーダリヤーさん「女の人のつく三つの大嘘」
- 日本語教育センター賞（初級）：ジョン・カリンさん「挑戦をいつやりますか？」
- 日本語教育センター賞（中級）：セルヴィ・エルヴァウィサ・コルネリスさん「日本への留学と驚きの体験」
- 日本語教育センター賞（上級）：セキ・クンゲンさん「ワクワクしている私」
- 校友会レディスクラブ賞：エミル・トルシュコフスキさん「鉄人の心」
- 敢闘賞：リ・ヒさん「『ありがとう』と『ごめんなさい』」
- 特別賞：ロ・ヨウさん「鍵」

入賞者以外の  
出場者全員に  
参加賞が贈られました

### 参加したみなさんからのメッセージ

東京セントポールライオンズクラブ賞（最優秀賞）：ムンフバヤル・アノーダリヤーさん（観光学部）

私は最初はスピーチコンテストに出る自信がありませんでした。私の選んだテーマは少し軽くて、真面目ではありませんでした。でも、皆と違っているテーマがポイントになるとは知りませんでした。最優秀賞をもらったとき、本当なの？ とびっくりし、そして、色々悩んだかいたが良かったです。本当に嬉しかったです。実はこのスピーチコンテストは私の最初で最後のスピーチコンテストかなと思っていましたが、やはり賞をもらおうとまた挑戦してみたくりますね。

ムンフバヤル・アノーダリヤーさんのアドバイザー：小堀翔子さん（異文化コミュニケーション学部）

Anuka が最優秀賞に決まって、とても嬉しかったです！ 準備期間中、彼女の頑張る姿をずっと見てきたので受賞したときは「おめでとう、よく頑張ったね。」とお母さんのような気分でした。準備中一番大変だったことは原稿作成です。彼女の言いたいことをびったり表現するフレーズがなかなか見つからず、二人でたくさん悩みました。日本語って難しいですね…でもそれがこんな素晴らしい結果に繋がり、本当にやってよかったと思いました。

スピーチコンテスト実行委員長：和田さとみさん（文学部）

昨年私は誘導係としてスピーチコンテストの活動に参加をしました。スピーチを通じて、「留学生にはこんな風に日本は見えているんだ」と感動し、また聞きたいなという思いから今年は実行委員を務めることにしました。今年も様々なスピーチを聞くことができ、そして懸命に、胸を張って話す出場者たちの姿を見て私も頑張らなきゃ！ と元気をもらいました。実行委員たちと協力し合い、無事にコンテストを終えることができ、充実した一日となりました。皆さん、ありがとうございます！

全学共通カリキュラム運営センター部長：青木康先生

昨年の第1回、そして今年の第2回の日本語スピーチコンテストに参加して、感動をおぼえました。留学生の日本語スピーチのすばらしさ、ユニークな日本文化論として興味ひかれる話の中身もさることながら、留学生と日本人アドバイザーの心のかよった協力関係が随所に感じられて、とてもうれしくなりました。国際的な理解とか友愛というのがまさにそこにあるという感じでした。こういう試みが広がっていけば、世界はもっと平和になれると思います。



私の留学生生活

皆さん、はじめまして。私はエミルと申します。私は立教大学の唯一のポーランドの留学生ですが、全然さびしくありません。去年9月立教大学に来てから友達が沢山できました。大学の日本人の友達のおかげで色々なイベントに参加して、素敵思い出がいっぱいできました。今年のスピーチコンテストで私の趣味について話して、皆さんにトライアスロンの魅力を見せたかったです。この一年間、私は大学の施設をよく使って、練習しました。今年から学校のプールが使えるようになったので、よく行ってます。もし、私に会ったら、挨拶してください。一緒に練習しましょう！

エミル・トルシュコフスキさん (経営学部)



みなさん、こんにちは！ イギリスのシェフィールド大学から来たマシュー・ジョスリンです。立教大学で私が一番好きなところは、大学の独特な雰囲気です。立教大学は、何事にも前向きに考えている大学で、国際的な人と出会うことができる場所です。毎日、様々な人と様々な場面、過ごしやすい環境で学ばせてもらい、素敵な忘れられない思い出を作ることができました。この体験にはとても感謝しているので、みなさんにぜひ勧めたいものです。

マシュー・ジョスリンさん (異文化コミュニケーション学部)



にほんごそうだんしつ 日本語相談室 Japanese Language Support Desk

日本語で困ったときに、先生から指導が受けられます。

例えば・・・

- レポートの日本語チェック
企業のエントリーシート
奨学金申請のための書類 など

日本語教育センター (マキムホール1階) で予約ができます。相談室の場所はマキムホール9階です。

Students must make appointments for the Support Desk in the CJLE Office at least one day in advance.

にほんご としよ か 日本語の図書を貸します Borrowing Japanese Language Books

日本語教育センターでは、日本語学習に役に立つ図書を留学生に貸し出しています。1人3冊まで、2週間借りられます。

- <池袋>マキムホール1階 国際センター内
<新座>7号館2階 国際センター内



The CJLE lends books that are useful for Japanese language study to international students.

- <Ikebukuro Campus > International Office (McKim Hall, 1st floor)
<Niiza Campus > International Office (Building No.7, 2nd floor)

にいざ 新座キャンパス 「日本語中級A」火曜日 1時限目

中級日本語Aのクラスは、J4・J5・J6の三つのレベルの学生が履修できます。

私はこのクラスでTA (ティーチング・アシスタント) として、先生と一緒に学生のサポートをしています。現在、12名の学生が、国籍・文化・日本語のレベルの違いを越えて、助け合いながら仲良く学んでいます。

このクラスは、読み物を読んで日本文化を知るだけでなく、学生の母国について教え合う機会も多いので、いつも新しい発見があります。一人一人が主役になれる、とても楽しいクラスです。

異文化コミュニケーション研究科 言語科学専攻 工藤詩織さん

しょうかい クラスを紹介します



立教大学 日本語教育センター

<池袋キャンパス>マキムホール1階国際センター内 <新座キャンパス>7号館2階国際センター内

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

TEL: 03-3985-4202 FAX: 03-3985-2826 e-mail: nihongo@rikkyo.ac.jp

https://cjle.rikkyo.ac.jp/

ホームページが 新しくなりました